



末吉小だより

横浜市立末吉小学校

令和3年度

3月号

令和3年度を振り返って

学校長 本庄 則子



今年の冬は寒さが厳しく、学校の周りやプランターの花が首をすくめています。横浜にも久々に降雪がありました。記録的な積雪になり、交通網が寸断されている地域もあります。3月は春に向かって暖かくなってくれることを願っています。



例年2月に行ってきた花育は、今回こそ地域の方々と共に、と準備を進めていたのですが、急な感染拡大で残念ながら子どもたちだけで活動することになりました。1年生、5、6組、6年生が一人一鉢を植え、その後の水やりも一生懸命にしています。また、幼保小交流の取組は、感染が落ち着いていた秋には直接交流することができましたが、それも難しくなりました。そこで、今は1年生が来年入学する園児に向けて小学校紹介VTRを作成中です。新しく入学してくる子どもたちのために、とがんばっている姿は、この1年の成長を感じさせてくれます。

この2年間、朝会はTV放送で行ってきました。はじめは、目の前に子どもがいないので、反応が直接伝わってこないことが悩みでした。そのうちに、学校の構造上、放送室のドアを開けていると、元気な挨拶や教室が静かになる様子がわかるようになりました。朝会で話したことは、すぐに子どもたちに伝わります。5月に小さくなった鉛筆を大切に使い、使ったあと捨ててしまうのなら校長室の前の箱に入れてほしいと話したところ、今でも小さくなった鉛筆を入れにきてくれています。箱は、写真のように見えやすい瓶になり、大事そうに入れる子どもたちにはできる限り声をかけて、校長室を訪れる機会にもなっています。



先日の朝会では、6年生の国語の教科書に掲載されている「生きる」(谷川俊太郎 作)という詩の冒頭「生きているということ いま生きているということ・・・」を紹介しました。自分が小学生のときに目にした覚えはないのですが、教員になってから何度も子どもたちと読んだ詩です。学習の最後には、冒頭文につなげて詩をつくっていただきましたので、先日の朝会で教員がつくった詩の一部を紹介しました。末吉小の子どもそれぞれが「いま生きているということ」を実感する瞬間があるといいな、と思っています。

続いているコロナ禍、2度のオリンピック、様々なことがあったこの1年。保護者の方々や地域の方々に直接お会いできることは少なかったですが、皆様の応援を感じる事が数多くありました。感謝を申しあげると共に、来年度も末吉小学校をどうぞよろしく願いいたします。